

世界有数の革新的企業で
構成されるNASDAQ100指数

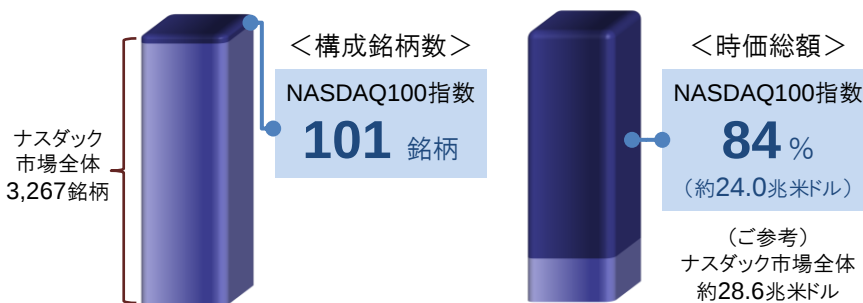
ナスダック上場銘柄のうち、時価総額上位で構成される株価指数

NASDAQ100指数は、世界最大級の新興企業向け株式市場、米ナスダック市場に上場している企業のうち、金融業を除く時価総額上位100社の株式で構成される株価指数です。最先端技術を有するような、世界有数のハイテク企業やバイオテクノロジー企業などを多く含んでいます。

同指数はハイテク関連を中心に多様な業種で構成されており、銘柄数は限定的ながら、時価総額ではナスダック市場全体の84%をカバーしています。

NASDAQ100指数の
構成銘柄数および時価総額の比率*

(2025年4月末現在)



*ナスダック市場全体の銘柄数および時価総額はNASDAQ総合指数のものです。
同指数はナスダック市場に上場する全銘柄で構成される株価指数です。

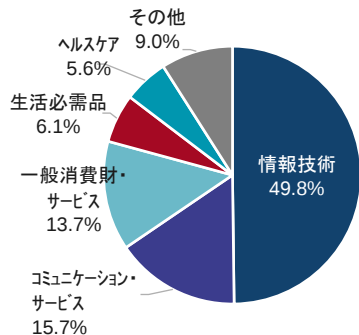
※NASDAQ100指数は時価総額上位100社の株式で構成されていますが、1社で複数の銘柄が上場している場合があるため、構成銘柄は100とは限りません。

※比率は指数の時価総額比です。

※当資料に示す各指数の著作権等の知的財産権その他一切の権利は、各指数の算出元または公表元に帰属します。
●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

NASDAQ100指数の
業種別構成比率

(2025年4月末現在)



※比率は指数の時価総額比です。
※上記は、世界産業分類基準(GICS)のセクター分類で表示しています。
※四捨五入の関係で、合計が100%とまらない場合があります。

上位には世界的な巨大IT企業が並ぶ

同指数の構成上位銘柄には、世界的な巨大IT企業が並びます。これらの企業は、今後の社会を一変させ得る技術分野のトッププレイヤーとして、更なる成長が期待されています。

NASDAQ100指数の構成上位銘柄

(2025年4月末現在)

	銘柄名	国	業種	構成比率		銘柄名	国	業種	構成比率
1	アップル	米国	情報技術	8.9%	6	メタ・プラットフォームズ	米国	コミュニケーション・サービス	3.3%
2	マイクロソフト	米国	情報技術	8.2%	7	ネットフリックス	米国	コミュニケーション・サービス	3.3%
3	エヌビディア	米国	情報技術	7.4%	8	コストコホールセール	米国	生活必需品	3.0%
4	アマゾン・ドット・コム	米国	一般消費財・サービス	5.4%	9	テスラ	米国	一般消費財・サービス	2.8%
5	ブロードコム	米国	情報技術	4.1%	10	アルファベット(クラスA)*	米国	コミュニケーション・サービス	2.6%

* 議決権が付与された株式

※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

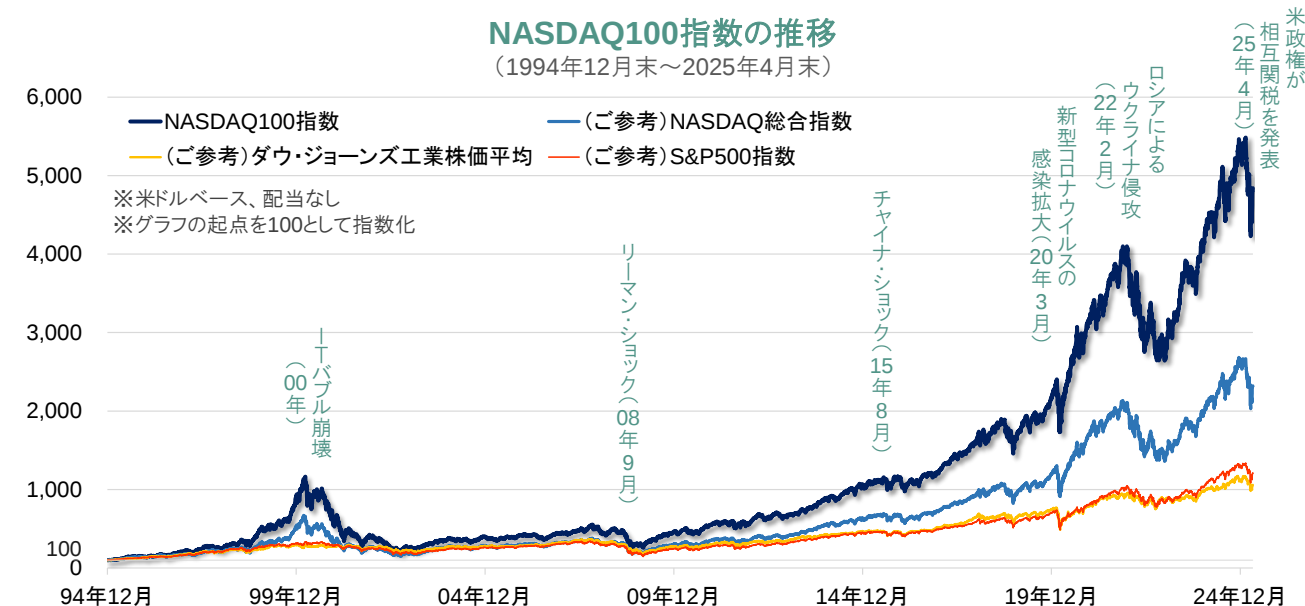
当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

NASDAQ100指数は相対的に大きな成長を遂げる

NASDAQ100指数の構成銘柄には、世界を代表するテクノロジー企業などが多く含まれています。これらを牽引役として、同指数は長期にわたり相対的に大きな成長を遂げてきました。

NASDAQ100指数の推移

(1994年12月末～2025年4月末)



定期的な銘柄入替により、厳選された成長銘柄への投資が可能

NASDAQ100指数では、毎年12月に定期的な銘柄入替が実施されます。そのため、大きな環境変化を乗り越えて成長を続ける企業が構成銘柄となっていることが多く、同指数を通じて、厳選された成長企業への投資が可能になると考えられます。なお、構成銘柄が企業買収の対象となる場合などには、臨時の銘柄入替が行なわれます。

NASDAQ100指数の入替銘柄

(2024年5月末～2025年4月末)

入替	適用日	除外銘柄	新規採用銘柄とその概要	
臨時	2024年6月24日	シリウスXMホールディングス	アーム・ホールディングス	ソフトバンクグループ傘下の英半導体設計企業
	2024年7月22日	ウォルグリーン・フーズ・アライアンス	ス・パ・マイクロ・コンピューター	米国に拠点を置き、高性能のサーバなどを設計・製造
	2024年11月18日	ダラー・ツリー	アップラビン	コンテンツの収益化やマーケティングなどを支援する米企業
定期	2024年12月23日	イルミナ	パランティア・テクノロジーズ	米軍などに防衛分野向けのAI(人工知能)サービスを提供
		ス・パ・マイクロ・コンピューター	マイクロストラテジー*	米国に拠点を置く、世界最大級のビットコイン保有企業
		モデルナ	アクソン・エンタープライズ	電流で相手を無力化するレーザー銃などを製造・販売

* 2025年2月5日、マイクロストラテジーは、ストラテジーに社名変更しました。

※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものではありません。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

米国経済の成長を牽引する企業が構成上位に

時価総額の大きい銘柄で構成されるNASDAQ100指数には、その時々米国経済の成長を牽引する、そうそうたる企業が名を連ねてきました。なお、構成上位銘柄の顔ぶれは、5年前に比べ、半数近くが入れ替わっています。

NASDAQ100指数の構成上位銘柄
(5年前との比較)2020年
4月末

	銘柄名	業種	構成比率
1	マイクロソフト	情報技術	11.7%
2	アップル	情報技術	11.0%
3	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	10.1%
4	フェイスブック*1	コミュニケーション・サービス	4.0%
5	アルファベット(クラスA)*2	コミュニケーション・サービス	4.0%
6	アルファベット(クラスC)*3	コミュニケーション・サービス	4.0%
7	インテル	情報技術	3.0%
8	ペプシコ	生活必需品	2.0%
9	シスコシステムズ	情報技術	2.0%
10	エヌビディア	情報技術	2.0%

*1 現メタ・プラットフォームズ、*2 議決権が付与された株式、*3 議決権が付与されていない株式

5年前に比べ、
構成上位銘柄の半数近くが入れ替わった2025年
4月末

	銘柄名	業種	構成比率
1	アップル	情報技術	8.9%
2	マイクロソフト	情報技術	8.2%
3	エヌビディア	情報技術	7.4%
4	アマゾン・ドット・コム	一般消費財・サービス	5.4%
5	ブロードコム	情報技術	4.1%
6	メタ・プラットフォームズ	コミュニケーション・サービス	3.3%
7	ネットフリックス	コミュニケーション・サービス	3.3%
8	コストコホールセール	生活必需品	3.0%
9	テスラ	一般消費財・サービス	2.8%
10	アルファベット(クラスA)*2	コミュニケーション・サービス	2.6%

※業種はGICS(世界産業分類基準)のセクター分類を用いて分類しています。

※銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳したものであり、実際と異なる場合があります。

※記載の銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものではありません。

また、当社ファンドにおける保有・非保有および将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。

●信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成

上記は過去のものであり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

当資料は、日興アセットマネジメントが情報提供を目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解および図表等は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。